

「アジア太平洋での軍事同盟強化の動きに反対する 各国の平和団体有志による声明」

9月下旬ニューヨークで行われたクアッド（QUAD＝日本、アメリカ、オーストラリア、インドの4か国による首脳級の政治対話の枠組み）首脳会合や、9月17日に創設が発表されたオーカス（AUKUS＝アメリカ、イギリス、オーストラリアの3国による包括的な安全保障の枠組み＝軍事同盟）など、アメリカを中心にアジア太平洋で強まる中国包囲網と軍事化の動きにたいし、関係する諸国の平和団体の代表が9月22日に緊急のオンライン会合を行い、クアッドとオーカスによる軍事同盟強化とアジア太平洋での緊張激化と軍事化に反対する声明を発表しました。

この準備会合には、日本AALAの田中靖宏国際部長が参加しました。その他、世界平和ビューローやアメリカの平和軍縮キャンペーン、オーストラリアの反基地連合、イギリスの核軍縮運動、フィリピンの非核連合、韓国の反基地運動、ドイツの平和軍縮団体の活動家も参加しています。

その後、起草責任者から以下の声明案が送られてきました。日本 AALA は役員会でこの声明に賛同することにしました。

世界の平和と共通の安全保障を求める私たちは、クワッド（米、豪、日、印）とオーカス（米、英、豪）の軍事化に反対し、共通の安全保障を求める世界の人々と平和組織に、核と気候変動、感染症の脅威に取り組むよう訴えます。

（9月下旬の）クアッド同盟首脳会合をまえに、クアッドとオーカスに参加する米日豪印と英、さらにフィリピン、ベトナム、韓国、ドイツの各国から集まった私たちは、世界の平和と正義、共通の安全保障を求める立場から、最近の情勢を分析して、クアッドとオーカス同盟の危険な軍事的強化に反対して連帯し、協力していく方策を話し合いました。

私達が非難するクアッド、オーカス同盟は、中国にたいして地球規模で戦略的な軍事緊張を強めており、これは極めて危険な動きです。事故や誤診がエスカレーションの引き金となり、破滅的な戦争につながる危険が増しています。それに加えて、増大する軍事緊張と競争は、米國と中国それに幅広い国際社

会が協力して核兵器（廃絶）や、緊急に必要とされている気候変動や感染症対策に取り組んで、現状を逆転させることを困難にしています。大国間の戦略競争には地球の破壊につながる戦争の危険があります。

オーストラリアの平和団体は、最近発表された米英豪の3国同盟に反対して、オーストラリアを米軍の活動舞台にさせないこと、オーストラリアの主権が米国に奪われないよう要求しました。さらにオーストラリア政府がおこなった、高濃縮ウランを燃料とする原子力潜水艦の購買契約には、核拡散を助長して環境破壊の大惨事をもたらす危険が内在しているとして、オーストラリア政府はこのようなことはしてはならないと要求しました。

米大統領は「屈折点」について話しましたが、まさにオーカス同盟（結成）についての交渉と公表は、戦略的状況における危険な転換点を示しています。その中には、

- クアッドとオーカス同盟は、地域の安定と安全を高めるどころか、冷戦のような危険な軍拡競争を煽りたてています。本来は共通の安全保障外交によって、この流れを逆転させなければならないはずです。

- 高度に濃縮されたウランと関連技術のオーストラリアへの移転は、核不拡散条約に違反し、核兵器の拡散を助長します。それはオーストラリアに核保

有に必要な資源を提供しますが、そのためインドや韓国、日本の政治家や軍人たちからは、なぜ自分たちはその能力保持を否定されるのかとの疑問が投げかけられるでしょう。

- オークス同盟（結成）の発表は、世界的な戦略環境に悲惨な影響をもたらします。アフガニスタンからの NATO の急激な撤退に続いて、バイデン政権は再び NATO 同盟国に相談することなく行動しました。これにより、欧州や欧州連合（EU）指導者たちのなかには、欧州が独立した軍事パワーになるという呼びかけが勢いを増すこととなります。新しい軍事同盟は、世界規模の軍拡競争を激化させます。

- オークス同盟は、東南アジア諸国連合（ASEAN）や他の国々にどちらにつくかの選択をせまる圧力がかかり、これらの国の独立を危くしかねません。

40 年前、中距離核戦力（INF）条約の交渉と冷戦の終結にあたって、共通の安全保障外交の採用が大きな役割を果たしました。新しい国際平和連合は、核兵器、気候変動の緊急事態やパンデミックによってもたらされる現在の脅威に対処し、逆転させるために、インド太平洋の非軍事化と共通の安全保障外交に対する国際的な圧力を構築することに取り組んでいます。

軍事同盟や壊滅的な戦争への準備はノーです。そして平和と縮、正義と地球環境の保護にイエスです。（以上）

（注） 報道によると、クワッドは 24 日の首脳会合で、覇権主義的な行動を強める中国を念頭に、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて基本的価値を共有する 4 か国のコミットメント・関与を再確認し、引き続きさまざまなパートナーとの連携を広げ、具体的な協力を積み上げていくことで一致しました。

オーカス（AUKUS）は、オーストラリア（Australia）とイギリス（United Kingdom）とアメリカ（United States of America）の三国の名を重ねた名称。9 月 17 日の創設の発表にあたって、「新たな包括的な安全保障の枠組みとして、AUKUS（オーカス）を創設する」とし、オーストラリアに原子力潜水艦の技術を提供することで、中国をにらんだ核軍事同盟の性格を明確にしています。（以上）